# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| **基本目標Ⅰ　あらゆる分野における男女共同参画の推進** | | | | | | |
| 施策の方向性１　政策・方針決定過程への女性の参画拡大 | | | | | | |
| （１）地方公共団体や企業・団体等における女性の参画拡大 | | | | | | |
| 1 | 審議会及び委員会等への女性委員の積極的な登用 | 福祉課<br>関係各課 | ・市の政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、女性委員登用の目標を令和8年度30%、令和13年度40%とし、女性委員の積極的な登用を関係各課に働きかけます。<br>・女性委員のいない審議会等の解消に努めます。 | b | 審議会等における女性委員の参画状況　　26.78% | ・市の政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、女性委員登用の目標を令和8年度30%、令和13年度40%とし、女性委員の積極的な登用を関係各課に働きかけます。<br>・女性委員のいない審議会等の解消に努めます。 |
| 2 | 「どこでも市長室」の開催 | 秘書課 | 市民団体の申し込みに応じ「どこでも市長室」を開催するため、広報紙やホームページ等を通じて募集を行います。 | b | 「どこでも市長室」において地域の課題についての共通理解やまちづくりの意見交換を行いました。<br>・申込実績…２団体 | 「どこでも市長室」としての事業を終了し、他の広聴事業実施を検討する。 |
| 3 | 女性人材や女性リーダーの育成 | 福祉課 | 女性管理職や女性役員等、指導的地位に就く女性の登用を促すため、SNSや広報紙、その他イベントを通じて啓発を行います。 | b | 茨城県女性リーダー登用先進企業を増加させるため、登用促進のための啓発を行いました。 | 女性管理職や女性役員等、指導的地位に就く女性の登用を促すため、SNSや広報紙、その他イベントを通じて啓発を行います。 |
| 4 | 市職員の職域の拡大 | 総務課 | 下妻市職員の申出に係る登用に関する規程について一層の周知に努め、管理職への女性の登用を行うなど、職域の拡大に努めます。 | a | 管理職への女性の登用を推進し、職域の拡大に努めました。<br>・課長級　５人（17.2%）<br>・課長補佐級　１９人（32.2%）<br>・係長級　３５人（55.0%） | 下妻市職員の申出に係る登用に関する規程について一層の周知に努め、管理職への女性の登用を行うなど、職域の拡大に努めます。 |
| 施策の方向性２　職場における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） | | | | | | |
| （１）ワーク・ライフ・バランスの実現 | | | | | | |
| 5 | ワーク・ライフ・バランスの推進 | 福祉課 | 広報紙やお知らせ版を通して、国や県、地方自治体、事業者等の取組みを紹介し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、啓発活動を行います。 | a | 11月の男女共同参画月間には、啓発キャンペーンを実施し、ワーク･ライフ･バランスや女性に対する暴力をなくすことの重要性を呼びかけました 。<br>また、お知らせ版やHPを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現の啓発を行いました。 | 広報紙やお知らせ版を通して、国や県、地方自治体、事業者等の取組みを紹介し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、啓発活動を行います。 |
| 6 | 市職員の時間外労働の縮減 | 総務課 | ・ワークライフバランスを推進し、ノー残業デーの徹底を図ります。<br>・職務調査を実施し、適正な人員配置を図るための資料とします。 | b | 庶務事務システムによる時間外勤務の事前決裁を周知徹底しました。<br>職務調査を実施し、適正な人員配置の資料としました。<br>・異動した職員　109人 | ・ワークライフバランスを推進し、ノー残業デーの徹底を図ります。<br>・職務調査を実施し、適正な人員配置を図るための資料とします。 |
| 7 | 市男性職員の育児参加 | 総務課 | 配偶者出産休暇、配偶者出産育児休暇、男性の育児休業等の制度の周知を図り、取得を推進します。 | a | 育児に係る休暇制度の周知を図りました。<br>・配偶者出産休暇取得者　6人（取得率100%）<br>・配偶者出産育児休暇取得者　4人（取得率71.4%）<br>・育児休業取得者　6人（取得率86%） | 配偶者出産休暇、配偶者出産育児休暇、男性の育児休業等の制度の周知を図り、取得を推進します。 |
| 8 | ICTを活用した業務改革推進事業 | DX推進課 | テレワークを推奨し、仕事と育児・介護の両立など、時間と場所を有効に活用できる柔軟な働き方を推進します。 | b | テレワークの利用環境が整っている職員数<br>・テレワーク利用登録者数　100人 | テレワークを推奨し、仕事と育児・介護の両立など、時間と場所を有効に活用できる柔軟な働き方を推進します。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 9 | DXによる業務改革推進事業 | DX推進課 | インターネットによるWeb会議を推奨し、移動時間などの短縮・業務の効率化を図り、生産性の向上を目指します。 | b | インターネットによるWeb会議を推奨し、Web会議セットの貸出を行った。<br>・Web会議セット貸出数　792回 | インターネットによるWeb会議を推奨し、移動時間などの短縮・業務の効率化を図り、生産性の向上を目指します。 |
| 10 | ねたきり高齢者を介護している介護者への支援 | 長寿支援課 | 要介護認定者を介護している介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図ることを目的に、介護者に対し、介護用品助成券(月4,000円)や介護慰労金(月額3,000円)を支給します。 | a | 《家族介護用品購入費助成券支給事業》<br>月4,000円の介護用品の購入助成券を1人年間最大で12枚交付しました。<br>・助成者：ねたきりの方 106人<br>認知症の方 73人<br>・事業費(扶助費)：6,247,207円<br><br>《ねたきり老人等介護慰労金支給事業》<br>・助成額：月額3千円<br>・支給人数：ねたきりの方 107人<br>認知症の方 71人<br>・事業費(扶助費)：4,764,000円 | 要介護認定者を介護している介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図ることを目的に、介護者に対し、介護用品助成券(月4,000円)や介護慰労金(月額3,000円)を支給します。 |
| 11 | 勤労青少年ホーム | 商工観光課 | ・幅広い世代の方に利用してもらえるよう周知を図ります。<br>・利用者の要望に応じて講座を企画、開催し、更なる利用促進を図ります。 | a | ・幅広い世代の方に利用してもらえるよう周知を図りました。<br>・利用者の要望に応じて講座を企画・開催し、更なる利用促進を図りました。 | ・幅広い世代の方に利用してもらえるよう周知を図ります。<br>・利用者の要望に応じて講座を企画、開催し、更なる利用促進を図ります。 |
| 12 | 働き方改革の促進 | 商工観光課 | ・働き方改革推進に関する情報を広報紙に掲載します。<br>・県が実施する「いばらき働き方改革推進キャンペーン（8月、11月）」に協力します。 | a | ・働き方改革推進に関する情報を広報紙に掲載しましました。<br>・県が実施する「いばらき働き方改革推進キャンペーン（8月・11月）」に協力しました。 | ・働き方改革推進に関する情報を広報紙に掲載します。<br>・県が実施する「いばらき働き方改革推進キャンペーン（8月、11月）」に協力します。 |
| （2）だれもが活躍できる働き方の実現 | | | | | | |
| 13 | 企業誘致事業 | 企画課 | 誘致企業との土地売買契約（本契約）及び土地引き渡しを行い、誘致企業の誘致の各種フォローアップに努める。 | a | しもつま中央工業団地において、造成工事が完了し、企業への引き渡しを実施した。また、鯨工業団地3号区画については、企業誘致に向けた売却手続きを進めている。既存の立地企業に対しては、雇用支援に関する事業を継続して実施し、人材確保や職場定着に向けた課題の把握と対応に努めた。 | 既存の立地企業への継続的なフォローアップを取り組む。 |
| 14 | 女性活躍推進法の普及・啓発 | 福祉課 | 「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画策定の普及促進と女性活躍推進に関する情報を提供します。 | a | 女性躍進・働き方改革等のいばらき女性活躍・働き方応援協議会の情報をホームページに情報提供しました。 | 「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画策定の普及促進と女性活躍推進に関する情報を提供します。 |
| 15 | 次世代育成支援 | 総務課 | 職員が仕事と家庭生活を両立できるよう職場環境を整備するため、女性活躍特定事業主行動計画を促進し、数値目標達成に努めるとともに実績について公表します。 | a | 女性活躍特定事業主行動計画の年度ごとの目標達成に努め、実績について市ホームページで公表しました。 | 職員が仕事と家庭生活を両立できるよう職場環境を整備するため、女性活躍特定事業主行動計画を促進し、数値目標達成に努めるとともに実績について公表します。 |
| 16 | 中心市街地出店者育成支援事業 | 商工観光課 | まちなかの賑わいを創出するため、空き店舗を活用して事業を開始する創業者等に対し、改装費と家賃の一部を補助します。 | a | まちなかの賑わいを創出するため、空き店舗を活用して事業を開始する創業者等に対し、改装費と家賃の一部を補助しました。 | まちなかの賑わいを創出するため、空き店舗を活用して事業を開始する創業者等に対し、改装費と家賃の一部を補助します。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| （３）安心して就労できる環境づくり | | | | | | |
| 17 | 保育の実施 | 子育て支援課 | 保護者の労働・病気等の理由により、家庭で児童(0歳～小学校就学前)の保育ができない場合、保育を実施し、児童の健全育成を図るとともに、安心して出産や就労ができる環境を整えます。 | a | 【保育実績】<br>・保育所　5園　延べ6,370人<br>・認定こども園　5園　延べ4,839人<br>・幼稚園　2園　延べ　486人<br>・小規模保育　1園　延べ 180人<br>・家庭的保育　1園　延べ　60人<br>・市外保育施設等　28園　延べ1,538人 | 保護者が安心して出産や就労ができ、仕事と子育てを両立できる環境を整えるとともに、幼児期から性別にとらわれない意識を育む、地域の男女共同参画教育の基盤となる環境を整えます。 |
| 18 | 延長保育事業 | 子育て支援課 | 保護者の就労形態の多様化に対応するため、開所時間を超えて30分の延長保育を行います。 | a | 【利用実績】<br>・市内保育所　5園　延べ889人 | 保護者の就労形態の多様化に対応するため、開所時間を超えて30分の延長保育を行います。 |
| 19 | 一時預かり事業 | 子育て支援課 | 保護者の疾病、災害、事故、冠婚葬祭その他これらに類する事由及び保護者の私的事由により緊急に保育を必要とする児童に対して、保育所等において保育サービスを提供します。 | a | 【利用実績】<br>・市内保育施設等　6園　延べ92人 | 保護者の疾病、災害、事故、冠婚葬祭その他これらに類する事由及び保護者の私的事由により緊急に保育を必要とする児童に対して、保育所等において保育サービスを提供します。 |
| 20 | 子育て短期支援事業 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 児童を養育している家庭の保護者が疾病等の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合又は、経済的な理由により緊急一時的に保護が必要となった母子を児童養護施設等において養育、保護その他の支援を行います。 | a | 児童を養育している家庭の保護者が疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合等に児童養護施設や里親で一時的に児童の預りを実施しました。<br>【利用実績】実利用者４人、延べ１６人 | 児童を養育している家庭の保護者が疾病等の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合又は、経済的な理由により緊急一時的に保護が必要となった母子を児童養護施設等において養育、保護その他の支援を行います。 |
| 21 | 放課後子ども総合プランの実施 | 生涯学習課 | 放課後児童クラブのニーズを把握し適切な運営に努め、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の整備についても、調査・研究を行います。 | a | 市内に18クラブ設置し、すべての小学校区に学童クラブを開設しました。<br>・月平均利用児童者数　442人<br>・学童保育事業委託料　100,074,046円 | 放課後児童クラブのニーズを把握し適切な運営に努め、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の整備についても、調査・研究を行います。 |
| 22 | 病児保育事業 | 子育て支援課 | 病児、病後児を病院・保育所等に付設された専用スペース等で看護師等が一時的に保育します。 | a | 広域連携により、茨城県西部メディカルセンターに付設された病児保育室「ひまわり」において保育を実施しました。<br>【利用実績】延べ15人 | 病児、病後児を病院・保育所等に付設された専用スペース等で看護師等が一時的に保育します。 |
| 23 | 幼稚園預かり保育推進事業 | 子育て支援課 | 市立幼稚園の園児に対して、幼稚園の教育時間終了後及び夏休み等の長期休業中、希望により預かり保育を行います。 | a | 【利用実績】<br>・市立幼稚園　2園　延べ1,205人 | 市立幼稚園の園児に対して、幼稚園の教育時間終了後及び夏休み等の長期休業中、希望により預かり保育を行います。 |
| 24 | 労働問題に関する相談支援 | 商工観光課 | 県や労働基準監督署と連携しながら、労働条件や労働安全衛生等の労働相談を希望する方への支援を行います。 | a | 県や労働基準監督署と連携しながら、労働条件や労働安全衛生等の労働相談を希望する方への支援を行いました。 | 県や労働基準監督署と連携しながら、労働条件や労働安全衛生等の労働相談を希望する方への支援を行います。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 施策の方向性３ 地域における男女共同参画の推進 | | | | | | |
| （１）地域力を高める人材育成・コミュニティづくり | | | | | | |
| 25 | 市民活動団体登録制度の周知と市民活動への参加促進 | 企画課 | ・市民活動を行っている団体の活動情報をホームページで公開し、市民活動への参加促進を行います。<br>・Facebook等も活用し団体登録制度を広く周知し、市民協働のまちづくりを推進します。 | a | Facebookにより活動に関する団体の登録制度情報を公開し、図書館に市民活動団体のチラシを掲示するなど市民活動への参加促進を行いました。 | ・市民活動を行っている団体の活動情報をホームページで公開し、市民活動への参加促進を行います。<br>・Facebook等も活用し団体登録制度を広く周知し、市民協働のまちづくりを推進します。 |
| 26 | 女性団体との連携促進 | 福祉課 | 女性が所属する団体と連携し、講演会等の運営や他市町村が主催する研修会等に参加するなど、男女共同参画社会の実現に向けた事業の推進と女性の積極的な行政参画を図ります。 | a | 女性団体連絡会(7団体19人)は、会議1回、議会傍聴、他市の男女共同参画講演会へ参加しました。 | 女性が所属する団体と連携し、講演会等の運営や他市町村が主催する研修会等に参加するなど、男女共同参画社会の実現に向けた事業の推進と女性の積極的な行政参画を図ります。 |
| 27 | 交通安全教育の実施 | 消防防災課 | 「交通安全母の会下妻支部」、「交通安全協会下妻支部」を中心に、交通安全に関する事業を実施します。 | a | 警察署・交通関係団体の協力を得て、交通安全教室（１４回実施）や交通安全ポスターコンクールを実施しました。<br>また、交通安全協会及び交通安全母の会の協力により、交通安全運動期間中に通学路等で立哨指導を実施しました。 | 「交通安全母の会下妻支部」、「交通安全協会下妻支部」を中心に、交通安全に関する事業を実施します。 |
| 28 | 地域温暖化防止活動推進員の活動支援 | 環境課 | 地域や家庭において省エネ対策及び温暖化防止対策を実践する茨城県地球温暖化防止活動推進員の普及啓発活動を支援します。 | a | 茨城県地球温暖化防止活動推進員とともに、緑のカーテン事業としてゴーヤ苗の市民配布を行った他、砂沼フェスティバルで環境ブースを設置し環境保全に関する普及啓発を実施した。 | 地域や家庭において省エネ対策及び温暖化防止対策を実践する茨城県地球温暖化防止活動推進員の普及啓発活動を支援します。 |
| 29 | 母親クラブの活動支援 | 子育て支援課 | 子どもの健全育成のために、自宅にて育児している母親たちが自主的に交流及び地域活動することを支援します。 | a | 市内１クラブ(みらい子育てネット下妻)の活動に対し、事業費の一部を補助しました。<br>【補助額】126,000円 | 子どもの健全育成のために、自宅にて育児している母親たちが自主的に交流及び地域活動することを支援します。 |
| 30 | ボランティア活動の支援 | 福祉課<br>（社会福祉協議会） | ・安心して活動できるようボランティア活動保険料の一部助成や、団体及び学校等へ助成金を交付し活動を支援します。<br><br>・〝共に生きる力〟を育む福祉教育を推進し、地域と学校の繋がりが生まれるプログラムの作成・実施をします。<br><br>・新たなボランティアの発掘、活動の推進となるよう講座を開催し、サークル活動の様子等の情報発信を行います。<br><br>・協働型災害ボランティアセンター運営を目指し、平時より関係機関や多様な団体との関係づくりに努めます。 | a | ・ボランティア団体が主体的に活動できるよう支援しました。また、地域で活躍するボランティアを育成するため養成講座を開催。講座修了者には新たな担い手として地域の介護予防教室での活動につなぎました。<br><br>《活動助成》<br>・ボランティア団体・学校　22件　736,000円<br>・活動保険料一部助成　288人　57,600円<br>《ボランティア養成講座／交流会》<br>・開催数　4回<br>・参加者　延べ172人<br>《福祉教育(市内小・中学校)》<br>・実施件数　40件<br>・体験者　延べ1,654人<br>・ボランティア協力　延べ149人<br>《フードバンク》<br>・食糧品の寄付　2,080kg<br>きずなBOX等の設置 19カ所（窓口寄付を含む）<br>《災害ボランティアセンター》<br>・災害ボランティアセンター運営訓練の実施<br>・研修会、訓練等への参加　年11回開催 | ・安心して活動できるようボランティア活動保険料の一部助成や、団体及び学校等へ助成金を交付し活動を支援します。<br><br>・地域や学校において〝共に生きる力〟を育む福祉教育を推進します。<br><br>・新たなボランティア発掘のため、活動に取り組む契機となるよう講座を開催します。<br><br>・協働型災害ボランティアセンター運営を目指し、平時より関係機関や多様な団体との関係づくりに努めます。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| （２）Ｕ・Ｉターンの促進 | | | | | | |
| 31 | 空き家バンク制度 | 消防防災課 | 全国版空き家バンクのサイトに情報を登録するとともに、SNS等を通して積極的に発信します。<br>併せて新規物件の登録を推進します。 | a | ・令和６年度以前の登録物件のうち２件が成立し、また令和７年度で７件の新規物件を登録し、うち２件が成立しました。<br>・市公式LINE等を活用し、空き家バンクの情報を積極的に発信しました。 | 全国版空き家バンクのサイトに情報を登録するとともに、SNS等を通して積極的に発信します。<br>併せて新規物件の登録を推進します。 |
| 32 | Ｕ・Ｉターンワンストップ窓口設置事業 | 企画課 | 移住定住ワンストップ相談窓口において、Uターン・Iターン希望者に対し、子育て支援情報や住宅支援情報などを提供し、転入支援を行います。 | a | ・移住定住ワンストップ相談窓口を設置し、移住を検討している方の希望や疑問に寄り添った相談対応を行いました。<br>・下妻についての総合的なPR情報誌「下妻ってこんなまち」を公共施設等に配布しPRを行いました。 | 移住定住ワンストップ相談窓口において、Uターン・Iターン希望者に対し、子育て支援情報や住宅支援情報などを提供し、転入支援を行います。 |
| 33 | エコ住宅設備資金への補助 | 環境課 | 脱炭素社会の実現に向け、住宅用太陽光発電システム設置補助金や環境配慮型新エネルギー設備導入補助金を支給します。 | a | 住宅用太陽光発電システム設置補助金 ４件<br>環境配慮型新エネルギー設備導入補助金 10件 | 脱炭素社会の実現に向け、住宅用太陽光発電システム設置補助金や環境配慮型新エネルギー設備導入補助金を支給します。 |
| 34 | 住宅リフォーム資金補助事業 | 商工観光課 | ・個人住宅におけるリフォーム工事（修繕、改築、増築、模様替え等）に対し、工事費の一部を補助します。 | a | 個人住宅におけるリフォーム工事（修繕、改築、増築、模様替え等）に対し、工事費の一部を補助しました。 | ・個人住宅におけるリフォーム工事（修繕、改築、増築、模様替え等）に対し、工事費の一部を補助します。 |
| （３）未来の農業のエンジンとなる担い手づくり | | | | | | |
| 35 | 農業後継者育成支援事業 | 農業政策課 | 農業後継者育成支援を進めます。 | b | 国の新規就農者育成総合対策（担い手確保・経営強化支援事業）や地域おこし協力隊制度を活用し、農業後継者の育成支援に努めました。 | 農業後継者育成支援を進めます。 |
| 36 | 農業経営の法人化支援 | 農業政策課 | 農業経営の法人化支援を進めます。 | b | 個人の大規模経営体に対して、法人化を促進しました。 | 農業経営の法人化支援を進めます。 |
| 37 | 耕作放棄地対策事業 | 農業委員会事務局 | 担い手への農地利用集積・集約化を推進します。 | b | 農地中間管理機構による農地利用集積活動を実施しました。 | 担い手への農地利用集積・集約化を推進します。 |
| 38 | 新規就農者支援事業 | 農業政策課 | 新規就農希望者に対する相談及び支援を進めます。 | b | 国の新規就農者育成総合対策（経営開始資金）を活用し、新規就農者の確保に努めました。 | 新規就農希望者に対する相談及び支援を進めます。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| （４）農業分野における男女共同参画の推進 | | | | | | |
| 39 | 家族経営協定事業 | 農業政策課 | 家族経営協定の締結を推進し、安定した農業経営の実現を支援します。 | b | 令和７年度に新たに１組が家族経営協定を締結し、家族経営協定数は計４３組になりました。 | 家族経営協定の締結を推進し、安定した農業経営の実現を支援します。 |
| 40 | 女性農業委員の登用 | 農業委員会事務局 | 女性の農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の登用について、積極的に取り組んでいきます。 | b | 令和2年度の改選時から女性農業委員1人登用<br>令和8年度の改選時の女性農業委員登用見込<br>・農業委員2人<br>・農地利用最適化推進委員1人<br>女性農業委員登用に向けた周知活等を実施しました。 | 女性の農業委員及び農地利用最適化推進委員の登用について、積極的に取り組んでいきます。 |
| （５）教育環境の整備 | | | | | | |
| 41 | 学校ICT環境整備・維持管理 | 教育総務課 | ICTを活用して一人一人に寄り添った指導を男女の区別なく行うため、ICT支援員の拡充を推進します。<br>ICT支援員の訪問回数：各校4回／月 | a | ICTを活用して一人一人に寄り添った指導を男女の区別なく行うため、ICT支援員を確保しました。<br>・ICT支援員の訪問回数：各校4回／月 | ICTを活用して児童生徒一人一人に寄り添った指導を行うため、ICT支援の拡充を推進します。<br>ICT支援員の訪問回数：各校4回／月 |
| 42 | 教育備品整備の推進 | 教育総務課 | 男女ともに充実した学校教育を受けられるように、理科教育備品の整備を促進します。<br>理科備品国庫補助金活用学校数目標12/12校<br>理科備品購入目標額5,700千円 | a | 男女ともに充実した学校教育を受けられるように、理科教育備品の整備を促進しました。<br>・理科備品国庫補助金活用学校数12/12校<br>・理科備品購入実績額5,499千円 | 児童生徒一人一人が充実した学校教育を受けられるように、理科教育備品の整備を推進します。<br>理科備品国庫補助金活用学校数目標12/12校<br>理科備品購入目標額5,900千円 |
| 43 | いばらきサイエンスキッズ育成事業 | 学校支援課 | 将来の科学技術を担う「人財」を育成するため、教員の指導力を高め、理科授業の質を向上させるとともに、探求的な活動を充実させることにより、児童生徒の科学への興味・関心を高め、理科の学力向上を図ります。 | a | ・科学の甲子園ジュニア県大会の予選会に、市内の中学校が参加しました。<br>・茨城県児童生徒科学研究作品展に、市内の小中学校から多数応募しました。 | 将来の科学技術を担う「人財」を育成するため、教員の指導力を高め、理科授業の質を向上させるとともに、探求的な活動を充実させることにより、児童生徒の科学への興味・関心を高め、理科の学力向上を図ります。 |
| 44 | 鬼怒川水辺の楽校に係る事業 | 都市整備課 | 鬼怒川河川敷「水辺の楽校」の維持管理をし、子どもたちの水辺の遊び、学習を支える仕組みをつくるとともに、自然豊かな安全な河川環境を将来に残すための事業を推進します。 | b | 花と一万人の会による原っぱ広場除草作業を年６回、その他、せせらぎ水路除草を年１回実施し、「水辺の楽校」の環境整備を行った。 | 鬼怒川河川敷「水辺の楽校」の維持管理をし、子どもたちの水辺の遊び、学習を支える仕組みをつくるとともに、自然豊かな安全な河川環境を将来に残すための事業を推進します。 |
| 45 | 青龍楽校 | 生涯学習課 | Eボート体験やさつまいも定植会、鮭の稚魚放流会等の自然体験事業を開催し、児童と保護者が共に自然に親しむことができるよう努めます。 | a | 鬼怒川フラワーラインにて開校式を行い、8人が団員として参加し、事業を実施しました。<br>・事業開催数：9回 | Eボート体験やさつまいも定植会、鬼怒川堤防の見学等の自然体験事業を開催し、児童と保護者が共に自然に親しむことができるよう努めます。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| **基本目標Ⅱ　安心・安全な暮らしの実現** | | | | | | |
| 施策の方向性１ あらゆる暴力の根絶 | | | | | | |
| （１）身体的・精神的苦痛を含むあらゆる暴力の根絶、被害者の保護・支援に向けた環境づくり | | | | | | |
| 46 | ドメスティック・バイオレンス防止の推進 | 福祉課 | ・配偶者等に対する暴力が犯罪であることの社会的認識を徹底するため、啓発活動を行います。<br>・DV被害者が相談しやすい環境づくりに努めます。 | a | 6月の男女共同参画週間や11月の男女共同参画月間に、女性に対する暴力の根絶に向け「パープルリボン」を設置するとともに啓発を(チラシ配布)を行いました。<br><br>イオンモール下妻店において「パープルリボンキャンペーン」を実施し、「性暴力をなくそう」をテーマにしたチラシや啓発品を配布しました。 | ・配偶者等に対する暴力が犯罪であることの社会的認識を徹底するため、啓発活動を行います。<br>・DV被害者が相談しやすい環境づくりに努めます。 |
| 47 | ハラスメント防止の推進 | 福祉課 | 職場や地域社会におけるパワーハラスメントやセクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報を、広報紙等を通して提供します。 | a | 11月の男女共同参画月間中に、セクハラ根絶に向けたポスターを掲示し、啓発活動を行いました。 | 職場や地域社会におけるパワーハラスメントやセクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報を、広報紙等を通して提供します。 |
| 48 | 人権相談(困りごと)事業 | 福祉課 | 法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、法務局で常設している人権相談の外、毎月1回市会議室で特設の人権相談を受け付けます。 | a | 人権擁護委員による人権相談を、毎月実施しました。<br>・開催回数:12回<br>・相談件数：1件 | 法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、法務局で常設している人権相談の外、毎月1回市会議室で特設の人権相談を受け付けます。 |
| 49 | 児童虐待防止事業 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 児童虐待防止について、11月の推進月間には広く周知、啓発普及を行います。また関係機関と連携し相談先の周知や啓発、支援を行います。 | a | こども家庭庁が実施する「児童虐待防止推進キャンペーン」期間中に、市内小・中学校や医療機関等に対し、児童虐待防止推進ポスターを送付し児童虐待防止に関する広報・啓発活動を行いました。また、市役所庁舎に懸垂幕の掲出や令和７年度には新たに防災無線において市民に対し児童虐待防止の呼びかけを行いました。<br>その他、夏休みや冬休みの長期休暇前に市内小・中学校等を通じ、保護者に対し児童虐待通告に関する啓発及び周知を目的として児童虐待通告等に関するチラシを配布しました。 | 児童虐待防止について、11月の推進月間には広く周知、啓発普及を行います。また関係機関と連携し相談先の周知や啓発、支援を行います。 |
| 50 | 母子等保護の実施 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 必要な相談や援助を行い母子の福祉の向上に努めます。特に緊急性の高い母子等については一時的に保護するとともに、当該やむを得ない事由の解消等を図るよう努めます。 | a | ＤＶ被害や経済的困窮等にある母子を保護するとともに自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他援助を行います。なお、令和7年度は下妻市においての利用実績はありませんでした。 | 必要な相談や援助を行い母子の福祉の向上に努めます。特に緊急性の高い母子等については一時的に保護するとともに、当該やむを得ない事由の解消等を図るよう努めます。 |
| 51 | 女性相談事業 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 配偶者からの暴力等から生する家庭内の問題について、随時相談・支援を行います。 | a | 配偶者からの暴力等から生する家庭内問題における相談・支援を行いました。<br>市ホームページ等を通じて、相談窓口の周知を行いました。 | 配偶者からの暴力等から生する家庭内の問題について、随時相談・支援を行います。 |
| 52 | 児童・生徒対象の防犯教育の実施 | 学校支援課 | 市内小中学校で、安全教育の一環として、学校行事や特別活動の時間に「不審者対応防犯教室・避難訓練」を実施します。 | a | ・市内各小中学校ごとに「不審者対応防犯教室・避難訓練」を実施しました。<br>・市内小中学校において、防犯アプリを活用した安全教育の推進に努めました。 | 市内小中学校で、安全教育の一環として、学校行事や特別活動の時間に「不審者対応防犯教室・避難訓練」を実施します。 |
| （２）男女が互いの人権を尊重する社会づくり | | | | | | |
| 53 | 人権教室の開催 | 福祉課 | 人権週間(12月4日～12月10日)にあわせ、市内小学校において人権教室を開催し、多様な考え方を認め合い、命の大切さや思いやりの心の醸成を図ります。 | a | 人権擁護委員が11～12月に、市内の小学4年生を対象に人権教室を開催しました。<br>・小学校9校（小学4年生　329人） | 人権週間(12月4日～12月10日)にあわせ、市内小学校において人権教室を開催し、多様な考え方を認め合い、命の大切さや思いやりの心の醸成を図ります。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 54 | 人権教育講演会の開催 | 福祉課 | 人権教育推進のために、市民、市職員、市内小中学校の教職員等を対象に人権教育講演会を開催します。 | a | バックパッカーとして世界中をめぐり、旅の途中で出会ってしまった日本文化に魅了されて落語家になってしまったダイアン吉日氏（バイリンガル落語家）を講師に迎え「ダイアンからみた日本～笑いで世界をひとつに～」というタイトルで人権教育講演会を実施しました。<br>・参加者数　185人 | 人権教育推進のために、市民、市職員、市内小中学校の教職員等を対象に人権教育講演会を開催します。 |
| 施策の方向性２ 生活上の困難に対する支援と多様性の尊重 | | | | | | |
| （１）持続可能で多様な生き方の実現 | | | | | | |
| 55 | 男女共同参画に関する情報の提供 | 福祉課 | 男女共同参画に関する情報を、市民にわかりやすいように、男女共同参画推進事業や広報紙等において提供します。 | a | 6月の「男女共同参画週間」（毎年6月23日～29日）において、パネルに男女共同参画週間のポスターや情報等を掲示しました。<br><br>広報紙やホームページを通じて、男女平等・男女共同参画社会の必要性について広報活動を行いました。<br><br>11月の男女共同参画月間には、啓発キャンペーンを実施し、ワーク･ライフ･バランスや女性に対する暴力をなくすことの重要性を呼びかけました 。<br><br>男女共同参画の意識啓発を図るため、小中学生川柳標語、フォトコンテスト、ファミリークッキングを開催しました。 | 男女共同参画に関する情報を、市民にわかりやすいように、男女共同参画推進事業や広報紙等において提供します。 |
| 56 | ＳＤＧｓ目標5 ジェンダー平等の実現 | 福祉課 | 2030年までの目標達成に向け、男女共同参画推進講演会等においてジェンダー平等の重要性を発信し、性別に関わらず多様な生き方ができるまちづくりを推進します。 | a | 6月の「男女共同参画週間」（毎年6月23日～29日）において、パネルに男女共同参画週間にチラシ等を掲示しました。<br><br>11月の男女共同参画月間には、啓発キャンペーンを実施し、ワーク･ライフ･バランスや女性に対する暴力をなくすことの重要性を呼びかけました 。 | 2030年までの目標達成に向け、男女共同参画推進講演会等においてジェンダー平等の重要性を発信し、性別に関わらず多様な生き方ができるまちづくりを推進します。 |
| （２）困難を抱えがちな子どもへの支援 | | | | | | |
| 57 | 放課後等デイサービス事業 | 福祉課 | 学校就学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に行い、障害児の自立を目指し、放課後等の居場所づくりを促進します。 | a | 学校就学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に行いました。<br><br>・延べ利用者数　1,651人/年 | 学校就学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に行い、障害児の自立を目指し、放課後等の居場所づくりを促進します。 |
| 58 | 特別児童扶養手当等の支給 | 福祉課 | ・20歳未満で障害者手帳を取得した方に「特別児童扶養手当」や「重度心身障害児童福祉手当」について説明します。<br>・広報紙やホームページで事業の周知を図り、適切に支給していきます。 | a | 広報紙やホームページで事業の周知を図り、適切に支給しました。<br><br>・特別児童扶養手当受給者　　107人<br>・重度心身障害児童扶養手当　110人<br>※R7.3.31現在 | ・20歳未満で障害者手帳を取得した方に「特別児童扶養手当」や「重度心身障害児童福祉手当」について説明します。<br>・広報紙やホームページで事業の周知を図り、適切に支給していきます。 |
| 59 | 学習支援事業 | 福祉課<br>（社会福祉協議会） | ・学習習慣を身につけることや居場所づくりを目的としてボランティアによる学習支援を行います。<br><br>・経済的に困窮する世帯への学習、食のサポートを行います。<br><br>・事業の周知に努め、利用促進を図ります。 | a | ①寺子屋<br>・通常開催の他、8月の夏休み期間中に教員OBや大学生に協力いただき、宿題お助け隊として週3回実施しました。<br>・オセロなどのボードゲームを購入し、学習終了後に児童同士が交流できるよう取り組みました。<br>・開催数　46回<br>・利用者 232人（実人数 19人）<br>・ボランティア 89人（実人数 11人）<br>②にこにこ学習塾<br>・市内在住の生活保護世帯、就学援助費受給世帯の中学生を対象に学習支援を行いました。<br>・利用者10名のうち3年生全員（3名）が志望校に合格しました。<br>・開催数　43回<br>・利用者数　150人（実人数 10人）<br>・ボランティア　113人（実人数 21人） | ・学校への事業周知に努めるとともに利用促進を図り、生活困窮者世帯の児童生徒の学習習慣の定着と居場所づくりに努めます |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 60 | 子育て電話相談事業 | 子育て支援課 | 市内保育所において、子育てに関する電話相談を行います。(随時・無料) | | | |
| 61 | 主任児童委員や民生委員・児童委員による子どもに関する相談活動の実施 | 福祉課 | 主任児童委員や民生委員・児童委員が子どもに関することを含めて各種の相談に対応することにより、地域に根ざした相談・支援体制の充実を図ります。(随時・無料) | a | 学校訪問などを通じて、主任児童委員と家庭相談員及び子ども家庭支援員が連携し、相談支援体制を強化しました。 | 主任児童委員や民生委員・児童委員が子どもに関することを含めて各種の相談に対応することにより、地域に根ざした相談・支援体制の充実を図ります。(随時・無料) |
| 62 | 家庭児童相談室及び子ども家庭総合支援拠点の設置 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | | | | |
| 63 | 幼児発達相談の実施 | 健康づくり課 | 乳幼児健診や保護者からの電話相談等において、相談や支援が必要な児(発達や発育、ことばの遅れ等心配のある乳幼児)とその保護者を対象に適切な療育指導と総合的な相談を行い、児の健全育成、保護者の育児支援を図ります。 | a | 個別の予約制で、公認心理師、特別支援教育指導員等の専門家との相談や検査を通し、保護者に対し子どもへの声掛けの仕方や療育の指導を行いました。<br>・参加実人数：８３人<br>・延人数：２１８人 | 乳幼児健診や保護者からの電話相談等において、相談や支援が必要な児(発達や発育、ことばの遅れ等心配のある乳幼児)とその保護者を対象に適切な療育指導と総合的な相談を行い、児の健全育成、保護者の育児支援を図ります。 |
| 64 | 妊婦・乳児健康診査事業 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 妊産婦及び乳児の保健管理の向上を図ることを目的に、妊婦一般健康診査及び産婦健康診査、乳児一般健康診査を医療機関に委託して行います。また、新たに1か月児健康診査を取り入れ、身体発育状況・栄養状態の確認、疾病の早期発見、保護者の育児相談等を行う。 | a | 妊娠期は16回、産婦健診２回、乳児期は生後1か月、３～６か月、９～１１か月の３回の健康診査を医療機関に委託して実施しました。<br>≪妊婦健診≫・受診者 2,309人<br>≪産婦健診≫・受診者336人<br>≪１か月児健診≫・受診者149人<br>≪乳児健診≫・受診者313人 | 妊産婦及び乳児の保健管理の向上を図ることを目的に、妊婦一般健康診査及び産婦健康診査、生後１か月児健康診査、乳児一般健康診査を医療機関に委託して行います。また、各種健康診査の受診率向上と結果に基づき保護者の健康相談・育児相談等を行います。 |
| （３）誰もが教育を受けることができる環境づくり | | | | | | |
| 65 | スクールサポートセンター運営事業 | 学校支援課 | ・スクールサポートセンターに配置した教育相談員が、通室支援・来室面談・学校訪問・家庭訪問を通して、児童生徒、保護者、教職員に対する相談支援体制の充実を図り、児童生徒の登校をサポートします。 | a | ・教育支援センターの運営を通して、通室児童生徒を支援しました。<br>・学校訪問、家庭訪問等を通して、児童生徒や保護者に教育相談を行いました。<br>・学校、家庭、関係諸機関と連携を図りながら、学校不適応傾向の見られる児童生徒の支援を行いました。<br>・電話による教育相談を行いました。<br>・発達障害の傾向にある児童生徒と保護者の支援を行いました。<br>・相談件数5,835件（令和7年度延べ件数） | ・スクールサポートセンターに配置した教育相談員が、通室支援・来室面談・学校訪問・家庭訪問を通して、児童生徒、保護者、教職員に対する相談支援体制の充実を図り、児童生徒の登校をサポートします。 |
| （４）多様性を認め合うダイバーシティ社会の実現 | | | | | | |
| 66 | 外国人への情報提供と支援 | 企画課 | 社会福祉協議会や茨城県国際交流協会等と連携し、外国人の生活に関する情報提供を行います。 | a | ・市HPを利用し生活に関する情報提供をやさしい日本語にて行いました。<br>・通訳支援機器の導入に向けたトライアル及び機種選定を実施しました。 | 社会福祉協議会や茨城県国際交流協会等と連携し、外国人の生活に関する情報提供を行います。<br>通訳支援機器を導入し、外国人住民との円滑なコミュニケーションを促進します。 |
| | | 健康づくり課 | ホームページを多言語対応とするほか、窓口に多言語翻訳機を設置します。手続きに関する各種案内について、必要に応じ多言語で対応します。 | a | ホームページの多言語対応のほか、転入手続きの案内や予防接種予診票で英語表記のものを活用し対応しました。 | ホームページを多言語対応とするほか、窓口に設置した多言語翻訳機を使用し、手続きに関する各種案内を、必要に応じ多言語で対応します。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 67 | 多言語化への対応に係る事業 | 健康づくり課 | ホームページを多言語対応とするほか、窓口に多言語翻訳機を設置します。手続きに関する各種案内について、必要に応じ多言語で対応します。 | a | 翻訳機の使用や外国語の案内文等にて対応し、理解の促進に努めました。 | ホームページを多言語対応とするほか、窓口に設置した多言語翻訳機を使用し、手続きに関する各種案内を、必要に応じ多言語で対応します。 |
| 68 | 日本語教室への支援 | 企画課 | 市広報紙やHP等を通じ、日本語教室に関する情報提供や、申し込み支援を行います。 | a | ハローワーク主催の「しごとのための日本語講座」や社会福祉協議会、市民活動団体が行う日本語教室等の情報提供や申し込み支援を行いました。 | 市広報紙やHP等を通じ、日本語教室に関する情報提供や、申し込み支援を行います。 |
| 69 | 性の多様性に関する情報提供と普及啓発 | 福祉課<br>関係各課 | 多様性を認め合う社会に向けて、県が行う相談支援・差別禁止等各種施策に協力するとともに、正しい情報の普及啓発に努めます。 | a | ・テーマ：防災のはなし<br>・講　師：消防防災課　河井危機管理監<br>・参加者：３３名 | 多様性を認め合う社会に向けて、県が行う相談支援・差別禁止等各種施策に協力するとともに、正しい情報の普及啓発に努めます。 |
| 70 | ホームヘルプ事業 | 福祉課 | ・自宅で、入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事の援助を行います。<br>・通院の際に介助を行います。 | a | 入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事の援助や、通院等の付添いを行う居宅介護支援サービスを提供しました。<br><br>・延べ利用者数　413人/年 | ・自宅で、入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事の援助を行います。<br>・通院の際に介助を行います。 |
| 71 | 短期入所支援(ショートステイ)事業 | 福祉課 | 家で介護を行う人が病気などの場合、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。 | a | 家で介護を行う人が病気などの場合、短期間、施設に入所し介護等を行います。<br><br>・ 延べ利用者数　165人/年 | 家で介護を行う人が病気などの場合、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。 |
| 72 | ひとり暮らし高齢者の支援 | 長寿支援課 | ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう支援体制を整えます。<br>・緊急通報システム事業<br>・愛の定期便事業<br>・高齢者等見守りネットワーク事業 | a | 《緊急通報システム事業》<br>・システム設置数：158台<br>・新規設置数(令和7年度中)：１３台<br>　機器更新数(令和7年度中)：３台<br>・事業費(委託料及び扶助費)：3,287,121円<br><br>《愛の定期便事業》<br>ひとり暮らしの高齢者に1日置きに乳製品を届け、安否を確認しました。<br>・利用人数：月平均 472人<br>・事業費(委託料)：10,387,250円<br><br>《高齢者等見守りネットワーク事業》<br>・協定締結事業者　32者 | ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう支援体制を整えます。<br>・緊急通報システム事業<br>・愛の定期便事業<br>・高齢者等見守りネットワーク事業 |
| 73 | 高齢者福祉タクシー利用料金助成事業 | 長寿支援課 | 高齢者の外出を促進し、閉じこもりの防止を図るため、タクシー利用に係る費用の一部を助成します。<br>・助成額：500円/1枚<br>・年間最大交付枚数：50枚<br>【対象者】<br>・65歳以上の方で自動車の運転免許証を保有していない方<br>【対象外】<br>障害者タクシー助成券の交付を受けている方、自動車税又は軽自動車税の減免を受けている方 | a | ・助成額：500円／１枚<br>・年間最大交付枚数：50枚<br>・交付者数：999人<br>・事業費(扶助費)：13,338,000円<br><br>《対象者》<br>・65歳以上の方で自動車の運転免許証を保有していない方<br><br>《対象外》<br>障害者タクシー助成券の交付を受けている方、自動車税又は軽自動車税の減免を受けている方 | 高齢者の外出を促進し、閉じこもりの防止を図るため、タクシー利用に係る費用の一部を助成します。<br>・助成額：500円/1枚<br>・年間最大交付枚数：50枚<br>【対象者】<br>・65歳以上の方で自動車の運転免許証を保有していない方<br>【対象外】<br>障害者タクシー助成券の交付を受けている方、自動車税又は軽自動車税の減免を受けている方 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 74 | 在宅福祉サービスセンター事業(あおぞらサービス)の支援 | 長寿支援課<br>（社会福祉協議会） | ・相互援助事業の目的を明確にし、会員が利用・活動しやすいサービスを目指します。<br>・事業周知と会員の増員に努めます。 | a | ・住民同士の相互援助による有償サービスとして、高齢者等の生活を支援しました。<br>・事業周知の結果、新たに17名の会員登録がありました。<br>利用会員　97人（実利用者数　56人）<br>協力会員　79人（実活動者数　22人）<br>利用時間　1478.5時間<br>主な内容　家事支援、通院介助、<br>話し相手(見守り) | ・相互援助事業の目的を明確にし、会員が利用・活動しやすいサービスを目指します。<br>・事業周知と会員の増員に努めます。 |
| 75 | 英語教育推進事業 | 学校支援課 | 「英語キャンプ」や「中学生企業訪問型英語交流事業」等、グローバル社会に対応した人材の育成を目指し、英語教育推進事業を実施します。 | a | ・市内の中学生26名が、福島県にある英語研修施設において2泊3日の中学生英語キャンプを行いました。<br>・市内の小学生15名が、ALTと一緒に英語を使ってゲームや会話を楽しむ小学生英語キャンプを行いました。 | 「英語キャンプ」や「中学生企業訪問型英語交流事業」等、グローバル社会に対応した人材の育成を目指し、英語教育推進事業を実施します。 |
| 施策の方向性３ 生涯を通じた健康支援 | | | | | | |
| （１）「知・徳・体」バランスの取れた教育の推進 | | | | | | |
| 76 | 性に対する正しい知識の普及 | 健康づくり課 | 自分のからだに関心を持ち命の大切さを知ること、他人を思いやる心を育むこと、身体の発育や性と生殖に関する知識や理解を深めることを目的に市内各小中学校で性教育を実施します。 | a | 依頼を受けた市内小学校6校（4年生143人）と中学校２校（中学1年生135人）に性教育を実施しました。思春期の身体面・精神面の変化について気づきや理解を促すことができました。またプライベートゾーンについての講話を行い、自分の体や他人の体を大切にすることを伝えました。 | 自分のからだに関心を持ち命の大切さを知ること、他人を思いやる心を育むこと、身体の発育や性と生殖に関する知識や理解を深めることを目的に市内各小中学校で性教育を実施します。 |
| 77 | 「生きる力」をはぐくむ健康教育推進事業 | 学校支援課 | 児童生徒の健康問題に対応するため、保健教育や健康教育を推進するための指導者研修会等を実施し、教員の資質向上と児童生徒の生きる力の形成を目指します。 | a | 市内の小中学校において、薬物乱用防止教室や、性に関する講演会等を実施しました。 | 児童生徒の健康問題に対応するため、保健教育や健康教育を推進するための指導者研修会等を実施し、教員の資質向上と児童生徒の生きる力の形成を目指します。 |
| 78 | 学校施設開放事業 | 生涯学習課 | 利用者の安全確保を最優先に考え、施設の維持管理に努め、安全にスポーツ等を行える場所として学校施設（グラウンド及び体育館）を開放する予定です。 | a | 市内12ヶ所の学校施設（グラウンド及び体育館）を開放し、安全にスポーツ等を行える場所として生涯スポーツの場を提供しました。<br>・利用延べ回数：2,030回<br>・利用延べ人数：41,531人 | 利用者の安全確保を最優先に考え、施設の維持管理に努め、安全にスポーツ等を行える場所として学校施設（グラウンド及び体育館）を開放する予定です。 |
| （２）結婚・出産の希望がかなう社会づくり | | | | | | |
| 79 | いばらき出会いサポートセンター入会補助金の支給 | 企画課 | いばらき出会いサポートセンターに入会した若者に補助金を支給します。 | a | 市広報紙やHP等を活用し、いばらき出会いサポートセンターの周知を行い、５名の入会者に補助金を支給しました。 | いばらき出会いサポートセンターに入会した若者に補助金を支給します。 |
| 80 | 出産祝金の支給 | 子育て支援課 | 子どもの誕生を祝福するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、出産祝金50,000円を支給します。 | a | 【支給実績】<br>支給者数173人（対象新生児数 176人） | 子どもの誕生を祝福するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、出産祝金50,000円を支給します。 |
| 81 | 不育症検査及び治療費助成事業 | 健康づくり課 | 子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減するため広報を行い、利用促進をすすめます。 | a | 令和5年度より実施<br>（助成限度額）1年度あたり50,000円。その額に満たないときはその額を助成します。<br>（申請者）2名 | 子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減するため広報を行い、利用促進をすすめます。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 82 | 不妊治療助成（先進医療）の助成 | 健康づくり課 | 国が承認する医療機関において行われた不妊治療であり、保険適用で実施した生殖補助医療と併用して行われた先進医療にかかる保険外診療費用の一部を助成 | a | 令和7年度より実施<br>（助成限度額）1回の治療につき上限40,000円<br>（助成回数）治療開始日の妻の年齢により助成回数が変わります<br>39歳未満：6回<br>40歳以上43歳未満：3回<br>（申請者）15名 | 不妊治療をしている夫婦の経済的負担を軽減するため、広報を行い利用促進をすすめます。 |
| （３）人生百年時代を見据えた健康づくり | | | | | | |
| 83 | 介護予防教室の開催 | 長寿支援課 | 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、高齢者の健康づくり、生きがいづくりや介護予防を目的として、継続して各種介護予防教室を開催します。 | a | 〈介護予防教室の開催〉<br>各種介護予防教室を行いました。<br>・転倒骨折予防教室(にこにこ体操教室)<br>９カ所　9教室、９９回開催（延２４９７人参加）<br>・シルバーリハビリ体操教室<br>32か所、49教室、５４６回開催（延４７８２人参加）<br>・認知症予防教室<br>１カ所　3教室　36回開催（延６０６人参加）<br>・シニアのためのパワーアップ・フォローアップ教室<br>２カ所　12回開催（延１７９人参加）<br><br>〈健康教育事業〉<br>介護予防教室内で専門職による講話等を行いました。<br>・管理栄養士：14回（延べ３２７人参加）<br>・歯科衛生士：14回（延べ３２０人参加）<br>・保健師：４５回（延べ776人参加）<br>・リハビリ専門職：１８回（延べ１８５人参加） | 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、高齢者の健康づくり、生きがいづくりや介護予防を目的として、継続して各種介護予防教室を開催します。 |
| 84 | がん検診事業 | 健康づくり課 | 各種がん検診の受診率向上に努め、その結果を生かし早期発見・早期治療につなげます。 | a | 集団及び医療機関において各種がん検診を実施しました。<br>《検診受診者数》<br>・胸部レントゲン3,611人・大腸がん3,409人・胃がん(バリウム検査)712人・前立腺がん1,030人・乳がん2,111人・子宮がん2,141人 | 各種がん検診の受診率向上に努め、その結果を生かし早期発見・早期治療につなげます。 |
| 85 | 食育推進事業 | 健康づくり課 | 市民自らが健康的な食習慣を生涯にわたって継続できるよう、支援します。対面による活動を増やし、さらなる食育の普及・啓発に努めます。 | a | 乳幼児から高齢者までの幅広い世代を対象とし、料理教室などの食育普及事業をボランティア等と連携し実施しました。<br>・離乳食教室　12回　304人<br>・食生活改善推進員による普及啓発活動　26回　1,088人 | 市民自らが健康的な食習慣を生涯にわたって継続できるよう、支援します。対面による活動を増やし、さらなる食育の普及・啓発に努めます。 |
| 86 | 感染症予防事業 | 健康づくり課 | ・引き続き感染症の発生及び拡大防止に努め、感染症予防のための正しい知識の普及を推進します。<br>・定期予防接種を実施し受診率向上に努めます。 | a | 市ホームページ等による正しい知識の普及と注意喚起を行うとともに、あわせて、予防接種対象者にワクチンの種類ごとに個別通知を実施し、積極的な接種勧奨を図り、接種機会の確保と予防体制の強化に努めました。 | 市ホームページ等を活用した広報啓発を実施し、市民の感染症予防意識の向上に努めます。また、予防接種については、対象者への個別通知による接種勧奨を徹底することで、受診率向上を目指します。 |
| 87 | 生活習慣病等重症化予防等健診 | 健康づくり課 | 健康管理への自覚を高められるよう、生活習慣病予防・改善のための基本健康診査・特定健康診査を実施し、健診後には、結果説明会を開催する他、教室・電話・窓口等で健康相談を実施します。 | a | 健康診断を実施し、その結果から保健指導（特定保健指導・結果説明会・栄養教室・相談教室）を実施しました。<br>・特定健診2,040人・高齢者健診1,130人・39歳以下307人・その他６人 | 健康管理への自覚を高められるよう、生活習慣病予防・改善のための基本健康診査・特定健康診査を実施し、健診後には、結果説明会を開催するほか、教室・電話・窓口等で健康相談を実施します。 |
| 88 | 運動教室の実施 | 生涯学習課 | 各自が運動の重要性や具体的な運動方法を知り、自分に合った運動を継続し、健康維持・増進、体力の向上が図れるよう支援することを目的に実施します。 | a | 市HPや広報誌等で周知し、運動教室を実施しました。<br>・はつらつエクササイズ教室開催数：18回<br>・はつらつエクササイズ教室延べ人数：245人 | 各自が運動の重要性や具体的な運動方法を知り、自分に合った運動を継続し、健康維持・増進、体力の向上が図れるよう支援することを目的に実施します。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 施策の方向性４ 防災・復興における男女共同参画の推進 | | | | | | |
| （１）防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実 | | | | | | |
| 89 | 男女共同参画の視点に立った防災計画の策定 | 消防防災課 | 今後も地域防災計画に基づき、男女共同参画の視点に立った防災対策に努める。 | a | 女性のニーズを避難所運営に反映させる一助として、男女別使用を想定した鍵のかかるトイレを、以下のとおり購入しました。<br>①軽トラトイレカー（水洗トイレを搭載した軽トラック）<br>②ほぼ紙トイレ（耐水性で強度が高い特殊な厚紙を使用した組立式の備蓄型個室トイレ） | 今後も地域防災計画に基づき、男女共同参画の視点に立った防災対策に努める。 |
| 90 | 自主防災組織における女性視点での活動の充実 | 消防防災課 | ・自主防災組織の結成時や活動に際し、女性の視点に立った活動や組織運営に取り組むよう、助言等を行います。<br>・女性が参加しやすい講座等を検討します。 | a | ・自主防災組織が３組織結成されました。<br>・女性が多数を占める団体へ講座を実施しました。 | ・自主防災組織の結成時や活動に際し、女性の視点に立った活動や組織運営に取り組むよう、助言等を行います。<br>・女性が参加しやすい講座等を検討します。 |
| 91 | 消防団への女性の加入推進 | 消防防災課 | 下妻市消防団女性部を組織します。また、広報紙等を活用し、勧誘に努めてまいります。 | a | ・年度初めに下妻市消防団女性部を正式に組織しました。<br>・部長および班長の役職を配置して運営体制を確立し、組織的な活動を推進しました。特に女性部長が消防団幹部会議へ出席したことは、意思決定の場への女性参画を促進する重要な一歩となりました。<br>・例年取り組んでいる「ちよかわ幼年消防団との防災事業」や「住宅用火災警報器の設置促進チラシ配布」、「有資格者による救急救命講習」についても継続して実施し、多角的な啓発活動に努めました。 | 女性部の活動を定着させ、女性視点を活かした防災啓発や広報活動を推進し、多様な人材の加入を促進します。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| **基本目標Ⅲ　男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備** | | | | | | |
| 施策の方向性１ 男女共同参画の視点に立った各種制度等の整備 | | | | | | |
| （１）誰もが能力を発揮できる社会づくり | | | | | | |
| 92 | 男女共同参画関連事業の開催 | 福祉課 | 誰もがあらゆる分野で能力を発揮し活躍できる男女共同参画のまちづくりを目指し、各種事業や講座等を企画・開催します。 | a | 《男女共同参画推進事業の開催》<br>・男女共同参画週間パネル展示<br>・川柳・標語募集：696人参加<br>・フォトコンテスト：応募者22人,29点<br>投票708票<br>・男女共同参画月間事業(チラシ配布、女性に対する暴力をなくす運動啓発等)<br>・ファミリークッキング:１回実施<br>９組20名の家族が参加 | 誰もがあらゆる分野で能力を発揮し活躍できる男女共同参画のまちづくりを目指し、各種事業や講座等を企画・開催します。 |
| 93 | 就業支援・職業能力の向上 | 商工観光課 | ・ハローワークや県と連携しながら、就業を希望する方への支援を行います。<br>・各種技能資格取得講習会等の技能訓練に関する情報提供を行います。 | a | ・ハローワークや県と連携しながら、就業を希望する方への支援を行います。<br>・各種技能資格取得講習会等の技能訓練に関する情報提供を行いました。 | ・ハローワークや県と連携しながら、就業を希望する方への支援を行います。<br>・各種技能資格取得講習会等の技能訓練に関する情報提供を行います。 |
| 94 | 起業支援セミナー | 商工観光課<br>（商工会） | 創業を志す方を対象に、創業セミナー（しもつま創業塾）を開催します。講義を修了した方は、会社を設立する際に係る登録免許税の軽減措置など、様々な支援を受けることができる証明書の交付を行います。 | a | ・創業を志す方を対象に、創業セミナー（しもつま創業塾）を開催します。講義を修了した方は、会社を設立する際に係る登録免許税の軽減措置など、様々な支援を受けることができる証明書の交付を行いました。 | 創業を志す方を対象に、創業セミナー（しもつま創業塾）を開催します。講義を修了した方は、会社を設立する際に係る登録免許税の軽減措置など、様々な支援を受けることができる証明書の交付を行います。 |
| （２）安心して子どもを育てられる社会づくり | | | | | | |
| 95 | チャイルドシートリサイクル事業の実施 | 消防防災課 | 下妻地区交通対策連絡協議会(下妻市・八千代町)では、6歳未満の子どもにも着用が義務付けされているチャイルドシートの再利用促進と着用率向上のため、使用しなくなったチャイルドシートを再利用し、希望者に提供します。 | c | ホームページに事業内容やリサイクル登録されたチャイルドシートの画像等を掲載し、利用促進を図りました。令和７年度は登録件数が１件ありましたが、希望者への提供には至りませんでした。 | 下妻地区交通対策連絡協議会(下妻市・八千代町)では、6歳未満の子どもにも着用が義務付けされているチャイルドシートの再利用促進と着用率向上のため、使用しなくなったチャイルドシートを再利用し、希望者に提供します。 |
| 96 | 防犯活動(防犯ボランティア活動)の推進 | 消防防災課 | 市民が、安全で安心な地域づくりに寄与することを目的として、自己の健康増進のために行うウォーキングなどとあわせてパトロールを行うことを推進します。<br>お知らせ版やホームページ等を利用し、制度の周知を行い、新規加入者数を確保していきます。 | b | 加入者に防犯意識の高揚を図るとともに、活動時の注意点やポイントを指導する研修会を実施しました。<br><br>・登録者　３９４人(令和８年3月末現在) | 市民が、安全で安心な地域づくりに寄与することを目的として、自己の健康増進のために行うウォーキングなどとあわせてパトロールを行うことを推進します。<br>お知らせ版やホームページ等を利用し、制度の周知を行い、新規加入者数を確保していきます。 |
| 97 | 地域子育て支援センターの整備 | 子育て支援課 | 市内２カ所の支援センターと「わいわいハウス」を利用した出張ひろば型支援センター１カ所で、子育てについての相談、情報提供、助言等を行います。 | a | 【利用実績】<br>児童　　3,324人<br>保護者　3,085人 | 市内２カ所の支援センターと「わいわいハウス」を利用した出張ひろば型支援センター１カ所で、子育てについての相談、情報提供、助言等を行います。 |
| 98 | 児童手当の支給 | 子育て支援課 | 家庭等における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長を目的に、高校生年代までの子どもを養育している保護者等に対して手当を支給します。 | a | 【受給者数】　2,969人 | 家庭等における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長を目的に、高校生年代までの子どもを養育している保護者等に対して手当を支給します。 |
| 99 | 利用者支援専門員の配置 | 子育て支援課 | 地域の子育て支援事業等の情報提供及び、必要に応じ相談・助言を行うため、利用者支援専門員を配置し、関係機関との連絡調整を行います。 | a | 地域の子育て支援事業等の情報提供や助言及び関係機関との連絡調整を行いました。 | 地域の子育て支援事業等の情報提供及び、必要に応じ相談・助言を行うため、利用者支援専門員を配置し、関係機関との連絡調整を行います。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 100 | 母子・寡婦自立支援事業 | 子育て支援課 | 高等職業訓練促進給付金等事業を実施し、ひとり親家庭の母または父が就職に有利で生活の安定に役立つ資格を取得するために、養成機関で6月以上就学する場合に給付金を支給します。 | a | 高等職業訓練促進給付金等事業修了者２人に修了支援金を支給しました。<br>【支給額】100,000円（50,000円×2人） | 高等職業訓練促進給付金等事業を実施し、ひとり親家庭の母または父が就職に有利で生活の安定に役立つ資格を取得するために、養成機関で6月以上就学する場合に給付金を支給します。 |
| 101 | 児童扶養手当の支給 | 子育て支援課 | 父又は母と生計を同じくしていない18歳の年度末までにある児童を養育する家庭の生活安定と自立の促進を図るため手当を支給します。 | a | 市ホームページや窓口にて事業内容を案内し、手当を支給しました。<br>【受給者数】　367人 | 父又は母と生計を同じくしていない18歳の年度末までにある児童を養育する家庭の生活安定と自立の促進を図るため手当を支給します。 |
| 102 | 母子寡婦福祉会の活動支援 | 子育て支援課 | 母子家庭及び寡婦の交流を推進し、その福祉向上を図るための活動を支援します。 | a | 母子寡婦福祉会の活動に対し、事業費の一部を補助しました。<br>【補助額】42,000円 | 母子家庭及び寡婦の交流を推進し、その福祉向上を図るための活動を支援します。 |
| 103 | 保護者対象の学習講座の実施 | 健康づくり課 | 妊娠期、子育て期の不安解消や知識の習得、保護者の交流の場として、さまざまな講座を参加しやすいように計画します。お子さんの年齢にあったものや保護者の関心が高い内容、子どもの事故予防や救急時の対応など実施していきます。 | a | 保護者を対象に子育て講座を3回実施しました。<br>①食に関する講座：参加者10人<br>②子供へのほめ方に関する講座：参加者9人<br>③子どもの目の健康に関する講座：参加者13人 | 妊娠期、子育て期の不安解消や知識の習得、保護者の交流の場として、さまざまな講座を参加しやすいように計画します。お子さんの年齢にあったものや保護者の関心が高い内容、子どもの事故予防や救急時の対応など実施していきます。 |
| 104 | 健康教育の実施 | 健康づくり課 | 幼稚園、保育施設、各学校、各種団体、関係機関等からの依頼を受け、健康・栄養・性教育、子ども自身で考える力や行動変容の力が身につくよう、講話等の内容も研鑽しながら実施していきます。 | a | 市内の小学校9校にて、就学時健康診査の際に保護者に対して健康に関する知識普及のための講話及び保育園への歯みがき教室、放課後児童クラブ・小学校へのいのちの教育を実施しました。<br>・就学時健康診査　実施回数：9校２６０人<br>・歯みがき教室（保育園等）：12園　子327人　保護者55人<br>・いのちの教育（学童）：1か所３６人　（小学校）：2校１０６人 | 幼稚園、保育施設、各学校、各種団体、関係機関等からの依頼を受け、健康・栄養・性教育に関する講話を実施します。子ども自身が考える力や行動変容につながる力を身につけられるよう、内容の充実を図ります。 |
| 105 | 赤ちゃん訪問 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 生後2か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげます。 | a | 生後2か月までを目安に家庭訪問をし、母子の心身の状況や発育発達、養育環境等を確認し母親の相談や育児不安に対する支援を行います。<br>＜対象実人員＞174名<br>＜家庭訪問実施率＞100% | 生後2か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげます。 |
| 106 | 医療福祉制度による医療費助成事業 | 保険年金課 | 妊産婦、小児、ひとり親家庭の母子・父子及び重度心身障害者の健康の保持増進と生活の安定のため、医療費の一部を助成します。 | a | 妊産婦、小児、ひとり親家庭の母子・父子及び重度心身障害者に対し、医療費の一部を助成しました。<br>・受給者数6,947人（令和8年3月31日現在）<br>・助成件数104,732件/年 | 妊産婦、小児、ひとり親家庭の母子・父子及び重度心身障害者の健康の保持増進と生活の安定のため、医療費の一部を助成します。 |
| 107 | 子どもを守る110番の家事業 | 学校支援課 | 誘拐やわいせつ行為等の事件事故から子どもを守るため、警察や小中学校、PTA等と連携しながら、通学路に面した一般家庭や商店、コンビニエンスストア等を緊急避難場所として、子どもを守る110番の家事業を行います。 | a | ・保護者や教職員が「子どもを守る110番の家」を訪問するなどして、緊急避難場所としての依頼や情報交換を行いました。<br>・令和７年度「子どもを守る110番の家」件数は875件でした。 | 誘拐やわいせつ行為等の事件事故から子どもを守るため、警察や小中学校、PTA等と連携しながら、通学路に面した一般家庭や商店、コンビニエンスストア等を緊急避難場所として、子どもを守る110番の家事業を行います。 |
| 108 | 見守りボランティア活動事業 | 学校支援課 | 登下校時の事件事故から児童・生徒を守るため、見守りボランティアがウォーキングなどとあわせて見守りを行います。 | a | ・見守りボランティア登録者者数181人 | 登下校時の事件事故から児童・生徒を守るため、見守りボランティアがウォーキングなどとあわせて見守りを行います。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 109 | ブックスタート事業 | 図書館 子育て支援課 健康づくり課 | ・赤ちゃんのときから絵本に親しむことにより、豊かな心を育むとともに、親子が絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけをつくることを目的として実施します。<br>・保護者に絵本を介して赤ちゃんに語りかけることの大切さ、読み聞かせの方法等について話をし、絵本についてのアドバイスブックと絵本1冊をプレゼントします。 | a | 5か月児健診時に図書館職員や読み聞かせスタッフによる絵本の読み聞かせを行い、絵本を1冊プレゼントしました。<br>・絵本配布人数：１７１人<br>・絵本の種類：じゃあじゃあびりびり、いないいないばあ、ペンギン体操 | 赤ちゃんの時から絵本に親しむことにより、豊かな心を育むとともに、親子が絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけをつくることを目的として実施します。<br>保護者に絵本を介して赤ちゃんに語りかけることの大切さ、読み聞かせの方法等について話をし、絵本についてのアドバイスブックと絵本1冊をプレゼントします。 |
| 110 | ファミリーサポートセンター事業 | 子育て支援課<br>（社会福祉協議会） | ・事業周知と会員の増員に努めます。<br>・安心して一時預かりができるよう、会員が利用・活動しやすい場所サービスを目指します | a | 住民同士の相互援助による有償サービスとして、安心して子育てができるよう支援しました。<br>・会員数：利用会員 234人、協力会員30人<br>・利用件数 ： 503件<br>・協力会員研修会等：年４回実施 | ・事業周知と会員の増員に努めます。<br>・安心して一時預かりができるよう、会員が利用、活動しやすい場所およびサービスを目指します |
| 111 | 【新規事業】<br>こども家庭センター | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | 妊娠期から１８歳までの相談体制を強化するため「こども家庭センター」を新たに開設し、「母子保健相談」は妊娠、出産、産後のメンタルヘルス、子育ての悩みなどに対応、「家庭児童相談」は養育やしつけ、親子・家族関係の悩みなどに対応します。また、DVや家族関係の悩み等の相談機能を併せ持つことで、母子の安全を確保しながら、関係機関と連携し問題解決や悩みの軽減に努めます。 | a | 令和7年度からは、こども家庭センターとして母子保健と家庭児童相談の連携を強化し、妊娠期からの18歳までのお子さんとその家庭に対し、切れ目ない支援を行う。家庭児童相談は児の健全育成を図るため、家庭相談員2名、子ども家庭支援員１名を配置し、相談・指導業務を行った。<br>【家庭児童相談】相談実人員339人、延べ件数1564件<br>母子保健は、安心して妊娠・出産・育児ができるように保健師と助産師が妊娠期から出産、子育て期に渡る相談支援を行った。<br>【母子保健相談】母子健康手帳交付229件、電話相談411件、来所面談518件、養育支援訪問108件、赤ちゃん訪問174件 | 「母子保健相談」は妊娠、出産、産後のメンタルヘルス、育児の悩みなどに対応し、「家庭児童相談」は養育やしつけ、親子・家族関係の悩みなどに対応します。また、DVや家族関係の悩み等の相談機能を併せ持つことで、母子の安全を確保しながら、関係機関と連携し問題解決や悩みの軽減に努めます。<br>また、妊産婦やお子さんを持つ保護者、子ども自身に相談できる部署があることを知ってもらうために、こども家庭センターの周知にに努めます。 |
| （３）地域包括ケアシステムの構築 | | | | | | |
| 112 | 地域包括支援センター事業 | 長寿支援課 | 地域における高齢者の様々な問題等に対して、相談、支援、援助等を行います。また、各種会議の開催や研修会を開催し、医療・介護保険関係機関との連携づくりを図ります。 | a | ＜総合相談＞　高齢者本人、家族、民生委員等を通じた高齢者の様々な相談を受けました。<br>・相談件数：1,570件<br>＜地域包括ケアシステムの推進＞<br>介護状態や認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、地域ケア会議、在宅医療・介護連携推進委員会、権利擁護に関する会議等を開催、関係機関や多職種と協働・連携が図れる仕組みづくりの構築に向け取り組みました。 | 地域における高齢者の様々な問題等に対して、相談、支援、援助等を行います。また、各種会議の開催や研修会を開催し、医療・介護保険関係機関との連携づくりを図ります。 |
| 113 | 子育て世代包括支援センター事業 | 子育て支援課<br>（こども家庭センター） | | | | |
| 施策の方向性２ 教育・メディアを通じた男女共同参画への意識改革 | | | | | | |
| （１）一人ひとりが尊重される社会づくり | | | | | | |
| 114 | 行政相談の実施 | 秘書課 | 毎月１回の相談所開設を原則として、行政サービスに関する苦情や意見・要望等の相談を行います。<br>また、市内イベント等に参加し、会場で行政相談制度のPR活動を行います。 | a | 毎月1回の相談所開設を原則として、年間12回の行政サービスに関する意見・要望等の相談を行いました。<br>また、10月開催の「2025しもつま砂沼フェスティバル」においてPR活動を行いました。 | 毎月１回の相談所開設を原則として、行政サービスに関する苦情や意見・要望等の相談を行います。<br>また、市内イベント等に参加し、会場で行政相談制度のPR活動を行います。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 115 | 広報紙やSNSを活用した情報提供 | 秘書課 | 市民の生活に必要な情報等の見やすい掲載方法を常に検証・研究するとともに、市民から寄せられた情報等を積極的に紹介し、親しみの持てる広報紙づくりに努めます。<br>LINE、X、Instagram、TikTokなどのSNSを活用し、ツールの特性に合わせたタイムリーで効果的な情報発信に努めます。 | a | 広報連絡委員会などを通じて情報収集や意見交換を行い、見やすさやデザイン等を研究しながら、市民生活に必要な情報を掲載した「見てもらえる、分かってもらえる広報紙づくり」に努めました（実績：広報紙発行12回、広報連絡委員会12回開催）。<br>市公式LINEアカウントを活用し、情報の種類に応じた効果的な周知など、随時市民へのタイムリーな情報発信を行いました。<br>各種SNS（LINE、Instagram、TikTok、YouTube等）を活用し、それぞれの特性に応じた運用による情報発信の強化を図りました。特にInstagramやTikTokでは、市の風景やイベント、PRしたい施策など、市の魅力につながる内容を発信しました。<br>各種プレスリリースによる地域メディアへの周知を効果的に実施したほか、大規模イベントや重要施策など市のPRに資する案件については有料配信も活用し、幅広いメディアに対して情報発信を行いました。 | 市民の生活に必要な情報等の見やすい掲載方法を常に検証・研究するとともに、庁内の情報、市民にとって有益な情報等を積極的に紹介し、親しみの持てる広報紙づくりに努めます。<br>また、各媒体の特性を踏まえながら、継続的かつ積極的な情報発信に取り組みます。特に、若年層への影響力が高いInstagramやTikTokにおいては、コンテンツの利用者層に応じた記事作成とフォロワー数の増加を図り、移住定住の促進や下妻の魅力向上のため、市内外へ向けたSNSによるPRをさらに強化します。<br>さらに、プレスリリースや有料配信等も引き続き活用し、効果的なメディア向け情報発信に努めます。 |
| （2）キャリア教育による将来の目標づくり | | | | | | |
| 116 | 職場体験学習の推進 | 総務課 | 働くことについて興味を持ち、理解を深めてもらうため、生徒の職場体験や学生のインターンシップ等について、積極的に受け入れを行います。 | a | 職場体験について、積極的に受け入れを行いました。<br>・中学生職場体験　２１人<br>・大学生等インターンシップ　７人 | 働くことについて興味を持ち、理解を深めてもらうため、生徒の職場体験や学生のインターンシップ等について、積極的に受け入れを行います。 |
| 117 | 社会科見学・中学生社会体験事業 | 学校支援課 | 学校教育の一環として、地域の協力を得て、社会科見学や職場体験など様々な体験活動を行うことにより、望ましい職業観をはじめ、他者とのかかわりや思いやり、社会のルール等を学び、主体的、創造的に生きていくことができる資質や能力を育成します。 | a | 市内の中学校で、社会体験事業を実施しました。事業所訪問や職場体験を通して、働くことへの価値や意義について学ぶとともに、将来の自己の在り方を見つめ、職業選択や進路決定に向けての意識を高めることができました。 | 学校教育の一環として、地域の協力を得て、社会科見学や職場体験など様々な体験活動を行うことにより、望ましい職業観をはじめ、他者とのかかわりや思いやり、社会のルール等を学び、主体的、創造的に生きていくことができる資質や能力を育成します。 |
| 118 | 個を生かすキャリア教育 | 学校支援課 | 小学校段階から児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進するため「いばらきキャリア・パスポート」の活用と充実を図ります。 | a | ・市内の小中学校ごとに、学校独自のキャリア・パスポートを作成し、「いばらきキャリア・パスポート」を活用しながらキャリア教育を推進するための取り組みを行いました。 | 小学校段階から児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進するため「いばらきキャリア・パスポート」の活用と充実を図ります。 |
| （3）生涯にわたる学びのすすめ | | | | | | |
| 119 | 出前講座の開催 | 生涯学習課 | 市民への生涯学習の機会を提供する方法の一つとして、「下妻市活き活き出前講座」を実施します。市職員が身につけた専門知識を研修会や学習の場において提供します。（受講料無料） | a | ・市HPや広報誌等で周知し、「下妻市活き活き出前講座」を実施しました。<br>・出前講座メニュー総数：71講座<br>・年間総受講者数：587 人 | 市民への生涯学習の機会を提供する方法の一つとして、「下妻市活き活き出前講座」を実施します。市職員が身につけた専門知識を研修会や学習の場において提供します。（受講料無料） |
| 120 | 生涯学習活動の推進 | 生涯学習課 | 市民が生涯にわたり学び続けられるよう学習機会や情報を提供し、自主的学習活動を推進します。 | b | 市民が生涯にわたり学び続けられるよう学習機会や情報を提供し、自主的学習活動を支援しました。 | 市民が生涯にわたり学び続けられるよう学習機会や情報を提供し、自主的学習活動を推進します。 |
| 121 | 芸術文化事業の推進 | 生涯学習課 | 市民の発表・作品展示などの機会を創出するために市民文化祭を開催します。また、多くの市民に楽しんでいただけるような芸術鑑賞の機会提供に努めます。 | a | 市民文化祭、芸術文化鑑賞事業を実施しました。<br>・市民文化祭参加人数　860人<br>・芸術文化鑑賞事業参加人数　7回　1,067人 | 市民の発表・作品展示などの機会を創出するために市民文化祭を開催します。また、多くの市民に楽しんでいただけるような芸術鑑賞の機会提供に努めます。 |

# 令和７年度「第4次下妻市男女共同参画推進プラン」進捗状況調査

| No. | 事業名 | 担当課 | 令和7年度事業内容 | 評価及び取組の実績 | | 令和8年度の事業内容（計画） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 評価 | 具体的施策、実績件数・費用等 | |
| 122 | 博物館事業の推進 | 生涯学習課 | 常設展示の資料を少しずつ変更する、展覧会を開催する等、市民が親しみやすい施設の運営に努めます。 | a | 展覧会の開催や博物館講座を実施しました。<br>・入館者数　8,065人 | 開館30周年に向けて、常設展示の資料を少しずつ変更する、展覧会を開催する等、市民が親しみやすい施設の運営に努めます。 |
| 123 | 生涯スポーツの振興 | 生涯学習課 | 市民が健康で豊かな生活を送ることができるよう、スポーツ関係団体の支援、スポーツイベントの開催、施設の整備・運営など、スポーツの振興を図るための施策を進めていきます。 | a | スポーツの振興を図るため、次のスポーツイベントを実施しました。<br>・砂沼親子マラソン大会参加者数：663人<br>・新春歩け歩け大会参加者数：288人 | 市民が健康で豊かな生活を送ることができるよう、スポーツ関係団体の支援、スポーツイベントの開催、施設の整備・運営など、スポーツの振興を図るための施策を進めていきます。 |
| 124 | 図書館事業の推進 | 図書館 | ・市民に親しまれる生涯学習・情報発信の拠点として、また市民の教養・調査研究に応えるために資料および情報の収集・保存・提供などサービスの充実と向上に努めます。<br>・図書館を広く知ってもらい足を運んでもらえるように、おはなし会・映画会などを開催するとともに、読書活動を推進し、読書に親しむ環境づくりを進めます。 | a | 年間を通して資料を収集し、蔵書の充実に努めました。<br>・購入図書 3,384冊（雑誌を除く）<br>ボランティアの協力及び職員により、読み聞かせを実施しました。<br>・参加人数 892人 | ・市民に親しまれる生涯学習・情報発信の拠点として、また市民の教養・調査研究に応えるために資料および情報の収集・保存・提供などサービスの充実と向上に努めます。<br>・図書館を広く知ってもらい足を運んでもらえるように、おはなし会・映画会などを開催するとともに、読書活動を推進し、読書に親しむ環境づくりを進めます。 |
| 125 | 公民館事業の推進 | 公民館 | 生涯を通じて学び、生きがいを持てるような各種教室を市内公民館・市民センター等で開催します。<br>・全43教室（各10回）<br>定員722名<br>（うち、高齢者教室は8教室142名） | a | 市内公民館・市民センターで各種教室を開催しました。<br>・全41教室（各教室10回）　参加者623名<br>（うち高齢者教室は7教室97名） | 生涯を通じて学び、生きがいを持てるような<br>各種教室を、市内公民館・市民センター等で開催します。<br>・全42教室（各10回）定員734名<br>（うち、高齢者教室は8教室142名） |
| （4）正しいメディアとのつきあい方 | | | | | | |
| 126 | 情報モラル教育の充実 | 学校支援課 | 児童生徒の発達段階等に応じた情報モラル教育の充実を図ります。 | a | 市内の小中学校ごとに、情報モラル教育の指導計画の見直しを行い、道徳の時間において年1回以上の情報モラル教育に関する指導を行いました。 | 児童生徒の発達段階等に応じた情報モラル教育の充実を図ります。 |